

第57回 鹿児島市都市計画審議会 議事概要

1 日時等

平成28年1月27日（水） 10時～11時20分
市役所東別館9階 特別中会議室

2 議案等

- 第1号 一般廃棄物処理施設の用途に供する特殊建築物の敷地の位置について [付議]
- 第2号 産業廃棄物処理施設の用途に供する特殊建築物の敷地の位置について [諮問]
- 第3号 鹿児島都市計画地区計画の決定について（リオーネ・ヴェルデ地区） [市決定、付議]

その他（報告）かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）の策定状況について

3 出席委員（17名）

- 第1号委員 学識経験のある者
宮廻委員、木方委員、笹川委員、米永委員、松下委員、玉川委員、三嶽委員、西委員
- 第2号委員 市議会の議員
堀委員、瀬戸山委員
- 第3号委員 関係行政機関の職員
待鳥委員、川俣委員（代理）
- 第4号委員 鹿児島県の職員
水迫委員、吉國委員（代理）
- 第5号委員 その他市長が必要と認める者
川野委員、三原委員、宮竹委員

4 欠席委員（3名）

- 第1号委員 学識経験のある者
内田委員、寺岡委員
- 第5号委員 その他市長が必要と認める者
有山委員

5 出席職員

- (1) 議案第1号 池畑建築部長、岩切建築指導課長
- (2) 議案第2号 池畑建築部長、岩切建築指導課長
- (3) 議案第3号 鮫島都市計画部長、坂元都市計画課長
- (4) その他 坂元都市計画課長

6 審議結果

議案第1号から議案第3号まで、「案に異議なし」の答申を受けました。

7 質疑等（○委員 ●当局）

第1号、第2号

- 騒音と振動について、基準値をクリアしているが、ギリギリでクリアしているのでは、影響が小さいという表現よりも、基準値より下回っているといった客観的な表現に変えた方が良い。
- 基準値を下回っていると訂正する。
- 騒音について、59.6dB は四捨五入すると 60dB になり、基準 60dB より低いと言えるのか。
- 基準値は法で 60.0dB と書いてあり、今回はこれよりも低い。
- 配布資料中、大気汚染の欄について、保全目標の基準値(0.1mg/m³)と環境基準値(10mg/m³)の差が大きすぎるがどうということか。
- 環境基準値の 10mg/m³は、0.1mg/m³の記載間違いである。
- 学校が近く、車両の往来には十分留意してほしい。
- 申請者にその旨伝えておく。
- （今回の案件で）増加する廃棄物運搬車が多くて2台である根拠は。
- 1ヶ月あたりの排出量から稼働台数を算出している。現在、交通量調査で1日534台ほど走っており、2台分1台当たり往復4台分ほど増える。

第3号

- 取付道路は1箇所か。ごみ置き場は1箇所、各宅地は階段があるのか。
- （取付道路は）1箇所であり、下の方とはつながっていない。地形が急峻で入口から下の方へ降りていく地形になっている。ごみ置き場は2箇所、また、既存の市道沿いもあるので、上、真ん中、下の方となっている。地形上、段差がある宅地造成となっており、道路勾配も許容の範囲ではあるが8%近い勾配となっている。
- 結構急傾斜ということだが、削っているのか。
- 造成は土を盛った形になっている。
- すぐ横に小中学校があるので大型トラックなど車の往来とか子供に気を付けるようご指導願いたい。建築工事の方も含めて。
- 造成はかなり終わった段階にあるが伝えておく。
- 下に降りる取付道路が無いので、開発者からすると色々人が入ってきたら困るかもしれないが、都市計画として考えると、歩行者動線も考えるべきではないか。
- 開発基準に合えば許可し、それに基づいた地区計画であるので今の段階ではなかなか厳しい。審査側に、防災上の観点からでも基準にプラスした形で今後出来るようお願いしていきたい。
- 土地利用計画図を見ると、宅地の道路面に階段がある。緑地帯を設置すると、この法面の上に緑が出るような形になるのではないか。
- 擁壁を立ててその前に緑地を設けるという考えで、駐車場はそのまま緑地が無いという形になる。基本的にはこういうスタンスで開発をされる側も考えている。

その他

- 居住誘導区域に入らない市街化区域に関しては今後どういう施策を取るのか。
- 鹿児島市は住んでいるところは基本的に守っていききたいという考え。工業

専用地域とか、居住はもともとダメという区域を外すとか、市街化区域内で緑地や山林など開発抑制するという観点で居住誘導区域から外すという考えもある。

○居住誘導区域に入れないで終わりなのか、逆線引きみたいなことをやって調整区域に戻すのか。どの辺まで踏み込まれる予定なのか。

●逆線引きもあるが、なかなか難しい部分もあるので、居住を誘導する区域を絞り込んでいきたいと考えている。

8 議事録署名委員

西委員、待鳥委員